

文書類

卷之二

牌佩用 二條

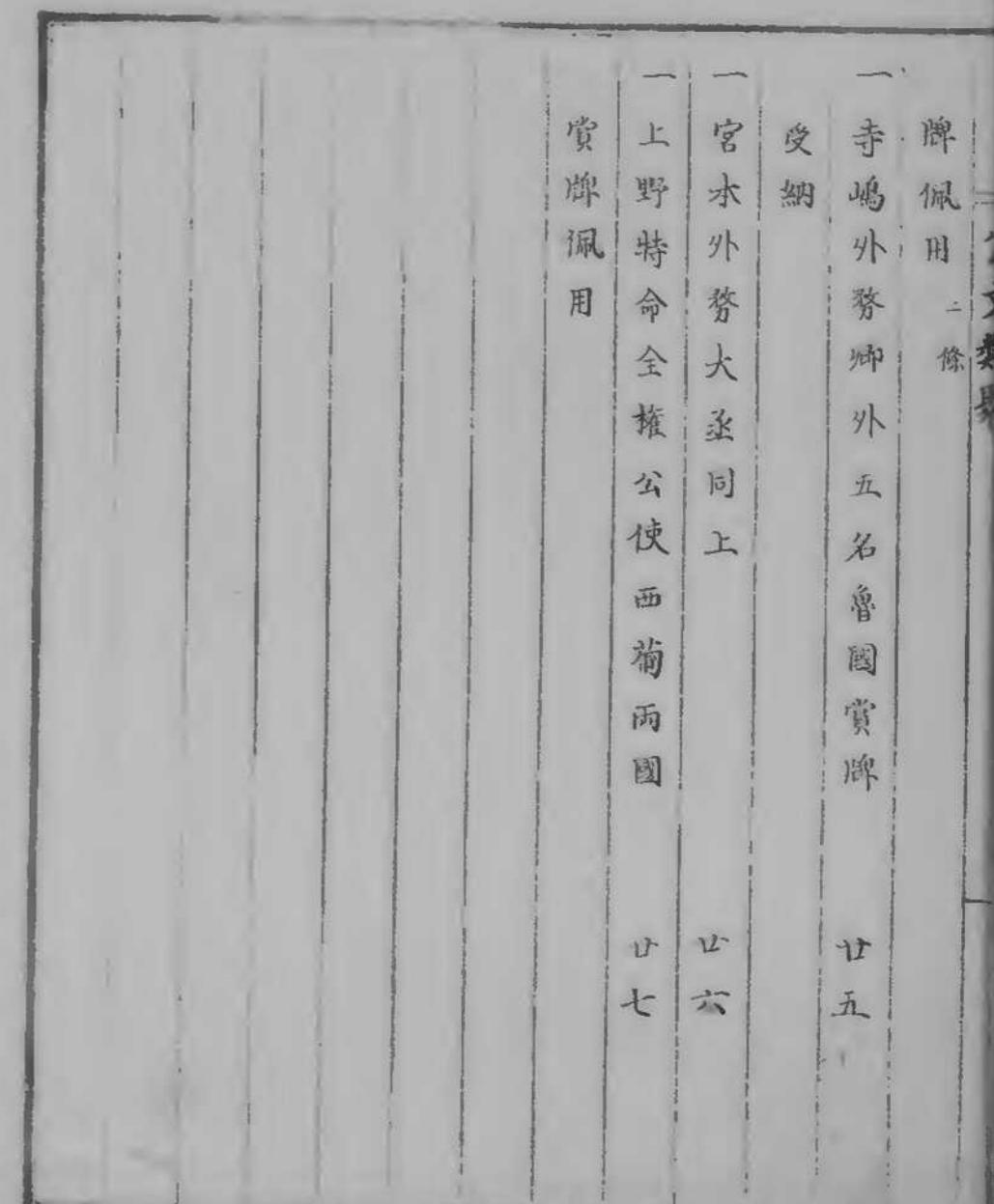
一 寺嶋外務大丞同上 廿五

受納

一 宮本外務大臣同上 廿六

一 上野特命全權公使西蘭兩國 廿七

賞牌佩用



太政類典第二編第二拾九卷

自明治四年八月  
至同年十二月

第一類

官規三

賞典恩典一

四年九月二日

左院へ下問

正院

凡人ノ功績勲勞アルモノノ衆庶ノ共ニ欽尚スヘキ所ナリ依テ之ヲ嘉獎シ位爵ヲ用テ賞典トシ等級ニ應シ賞牌ヲ與ヘ以テ其功勲ヲ表著セシメント欲ス宜シ其可否ヲ審議シ其體裁ヲ具備シテ上陳スヘレ

同上回議

以下答議二官別ニ陳述書ナレ  
案スルニ長官勢來ルナラニ

賞牌式并圖

第一等賞牌

金菊鉢大日章

紅帶以テ斜ケ右腰下ニ

聖ル一等以下其製  
別紙圖面ノ如シ

第二等賞牌

金菊鈕小日章

販

第三等賞牌

金桐葉鈕小日章

販

第四等賞牌

銀菊鈕小日章

右

第五等賞牌

銀桐葉鈕小日章

同右

第六等賞牌

銀櫻花鈕小日章

右

但殊功ヲ以テ別ニ終身ノ賞金ヲ給スル程ノ者牌  
ノ拙ケ緒紅ヲ用ヒ賞金ヲ賜ハラサル者ハ懸ノ緒  
自ク用ニ且賞牌ノ内第六等銀櫻花鈕ハ全ク平民

二 賜フ物トス

一 金菊鈕大日章ハ第一等官以上ノ功アル者ニ賜ヒ  
且大功アリテ此牌共ニ終身ノ賞金ヲ賜フ者ハ年々

金三千兩ヲ賜フ

一 金菊鈕小日章ハ第三等以上ノ功アル者ニ賜ヒ  
且大功アリテ右同斷ノ者ハ年々

金二千兩ヲ賜フ

一 金桐葉鈕小日章ハ第七等官以上ノ功アル者ニ賜  
ヒ且大功アリテ右同斷ノ者ハ年々

金一千兩ヲ賜フ

一 金菊鈕小日章ハ第八等官以下ノ功アル者ニ賜ヒ  
且大功アリテ右同斷ノ者ハ年々

金五百兩ヲ賜フ

一 金桐葉鈕小日章ハ等外ノ功アル者ニ賜ヒ且大  
功アリテ右同斷ノ者ハ年々

金二百五拾兩ヲ賜フ

一 金櫻花鈕小日章ハ平民ノ功アル者ニ賜ヒ且大  
功アリテ右同斷ノ者ハ年々

金一百兩ヲ賜フ

群ノ功アリヲ右同斷ノ者ハ年々

金五十兩ヲ賜フ

但右賞牌、等級ヲ定ムト雖氏初テ賜フ者ヘハ  
先ツ銀桐葉鉢小日章ヲ賜フベレ功ヲ累ニルニ  
從ニ次第ニ上等ノ牌ヲ賜フ假令ハ勅任以上王  
族ト雖此初功ノ者ヘハ第五等銀桐葉ヲ賜フノ  
類尤モ非常、大勲功アル者ハ此例ニ拘ハラス  
且其功再度以上ニ及ニ假令ハ其賞金二百五十  
兩ヨリ五百兩ノ格ニ進ニタル時ハ前ノ額數ヲ  
除クト勿論ナリ將又海外ノ者ヘ賜、時ハ其身  
分ヲ斟酌シラ牌ノ等級ヲ論スベシ

從軍牌式

但從軍牌ハ將卒ノ差別ナク且軍功ノ有無ヲ論セ

褒牌式

ス從軍セレ徵シニ賜フ物トハ

褒牌式

第一等褒牌

金ノ菊桐日文ノ大圓章

第二等褒牌

銀ノ菊桐日文ノ大圓章

第三等褒牌

銅ノ菊桐日文ノ大圓章

古褒牌ハ官民ヲ不論國家ノ為メニ大利益ヲ興シ又  
ハ國民ノ智識ヲ闡ク等ノ大功勞アル者ヘハ之ヲ賜  
ヒテ永ク其家ニ存シ永トナスニ足ル者トス終身佩

ヘシ所、賞牌ト異ナリ

前ニ表出スル紅帶金菊鉢ノ大日章ヲ賜フ後蓋世  
大勳功アル者ヘハ世襲ノ爵ヲ賜フベシ

但シ積功アル者ヘハ時トシテ終身ノ爵ヲ賜フ

モアルヘシ

一爵、類

世襲ノ爵 一代ノ爵

一位階ヲ廢シラ爵ヲ立ルノ類

上公 公 亞公

上卿 卿

但爵中ノ卿字諸省ノ卿ト相混ヘト雖凡差當  
リ好字面ナケレハ之ヲ存シ諸省ノ卿ヲ改メ  
テ更ニ長官ト稱スヘシ

一爵ノ序

上公 一等官ノ次

公 二等官ノ次

亞公 三等官ノ次

上卿 四等官ノ次

卿 五等官ノ次

先般位階ヲ廢シ爵ヲ立ルノ議上陳仕置候内亞公ノ  
稱ヲ省更ニ上士タノ二級ヲ加ヘ序順トモ別紙ノ通  
相改度此改申上候十月十四日

一位階ヲ廢シラ爵ヲ建ツルノ儀

上公 公

上卿 卿

上士 士

但爵中ノ卿字諸省ノ卿ト相混ヘト雖凡差當  
リ好字面ナケレハ之ヲ存シ諸省ノ卿ヲ改メ  
テ更ニ長官ト稱スヘシ

從前華族ノ稱ノ廢シ更ニ卿ノ爵ヲ賜ニ有功  
ニ因テ公爵ニ上ルト得從前士族卒ノ稱ヲ廢

レ更ニ士ノ爵ヲ賜ニ有功ニ因ニ卿爵ニ上ル

得

一爵・席

公勅任ニ準入

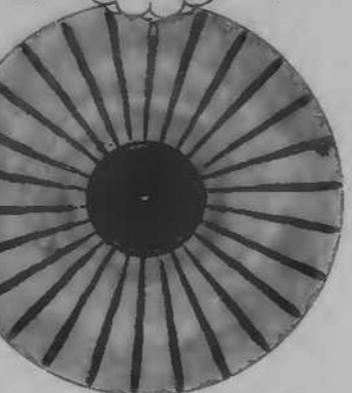
御奏任ニ準入  
士判任ニ準入

卿以上ノ嫡子ハ卿士以上ノ嫡子ハ士

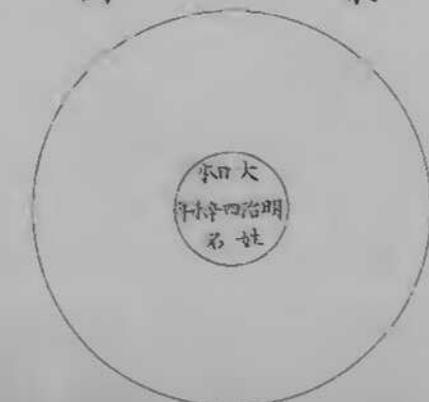
十月十四日

一等賞牌 間径二寸

大日章



裏面

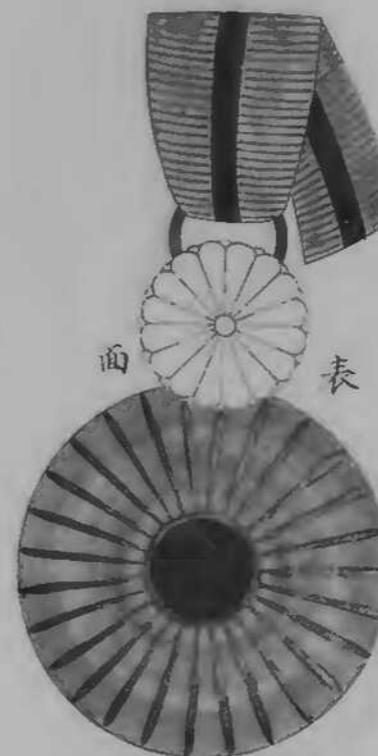


大日章  
明治四十年  
年月日  
記念

二等

賞牌 圓徑一寸八分

小日章



三等

賞牌 圓徑一寸五分

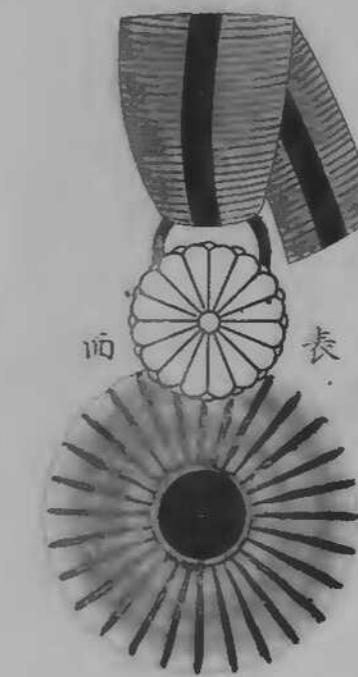
小日章



四等賞牌

圓徑一寸五分

小日章



面 裏



五等 賞牌 圓徑一寸五分

小日章

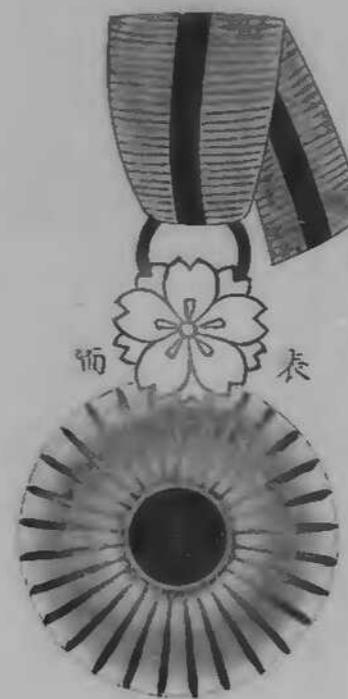


面 裏



六等 賞牌 圓徑一寸五分

小日章



面 裏



從軍牌



面 裏



表 八分

西 表

一 等  
一寸

西 裹

本日大  
年未平四治明  
名 姓

褒牌

西 表

二 等  
一寸五分



西 裹

本日大  
年未平四治明  
名 姓

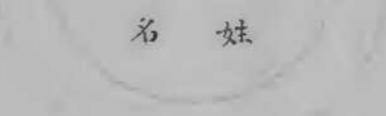
面 表 三等  
二寸

褒牌



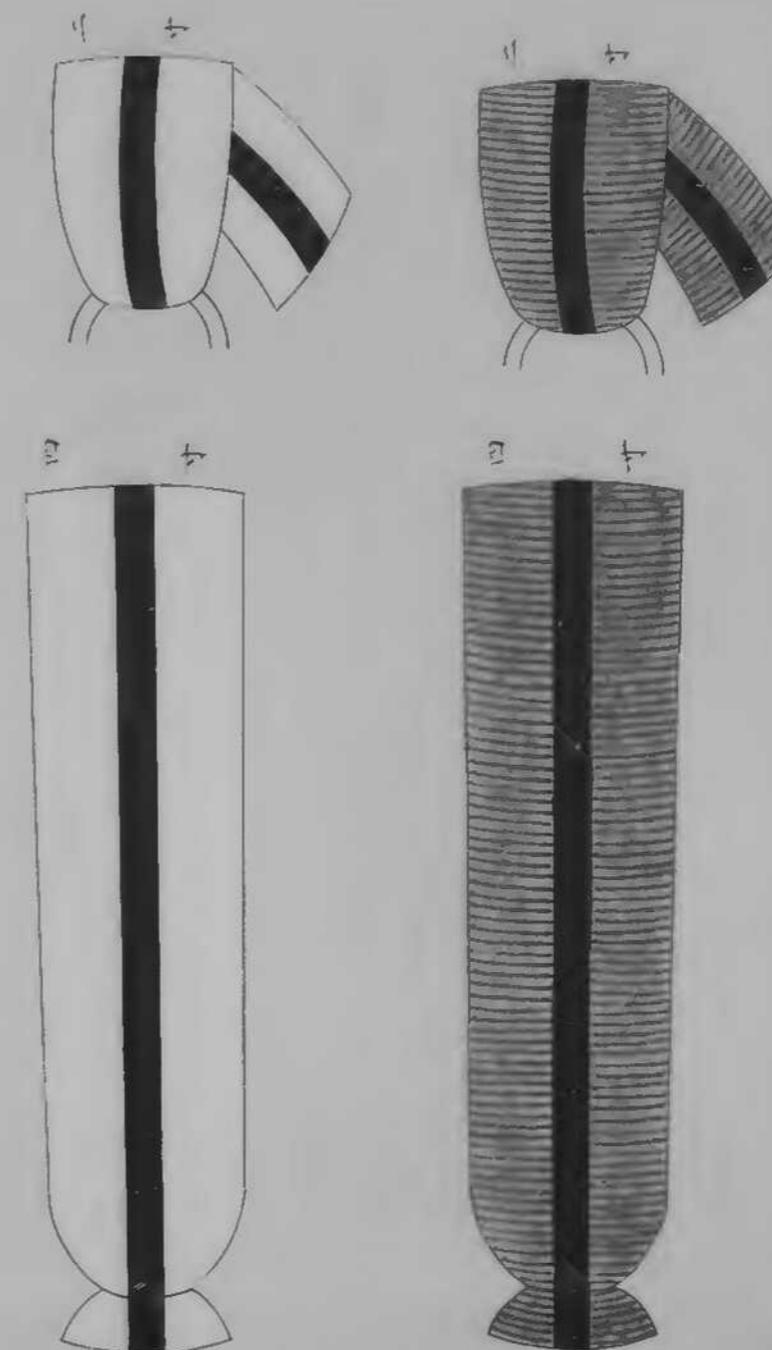
西 裹

本日大  
年未平四治明  
名 姓



人ノ魚功アルヤ爵以テ之ヲ崇シ祿以テ之ヲ厚フ  
 一旦文詞ノ褒金帛ノ賜以テ之ヲ優渥ニス尚其足ラ  
 バルノ既止於是勳功ノ社号ヲ建テ珍寶ノ裝飾ヲ附  
 之ノ衆中ニ夸耀シテ皇天ノ此人ヲ寵異スルノ表  
 久此西洋各國打ヒドル無社ノコトニシヨシ表功飾  
 ノクナリ賞牌等、由々起ル所以ナリ本邦上古西王  
 等ノ服飾ノリト雖モ其用詳トフ又中古以来唐製ニ  
 做ビ石帶魚袋等ノ設ケアレル亦普通ノ例ニアラス  
 支レ刑律以テ不法ヲ懲シ褒賞以テ有功ヲ勸ハルハ  
 古今ノ常道イマ刑律ノ條日ニ備テ褒賞ノ典イマク

左院上奏



設々々是人ヲ罰ス止ニ詳ニミテ人ノ賞スルニ略  
ス而シテ可ナラニヤ本院夙ニ此議ヲ建テシト欲ニ  
テ其事ヲ考索シ功牌從軍牌賞牌ノ式様ヲ圖ニ且其  
略說ヲ習シテ以テ上ノ採用施行アランヲ希フ然  
ト重氏賞罰ハ人主ノ大權ナリ稍之ヲ濫用スレハ勸  
懲ノ道由テ立ツテナニ賞功給牌，事宜シク専仕ノ  
一局アリニ精細ニ斟酌商議スヘシ請特ニ官員ニ命  
ニテ此事ヲ司トラシメシ然ラサレハ本院嘗テ此事  
ヲ請究セ一者ニ命シ之ヲ司ラニムルモ亦可ナラン  
ニツノ者唯命ノマヽナリ 一月四日

六年六月

歐州各國ニ文武官，功績ヲ賞スル旌章アルハ其時  
，中古義勇，社ニ激觴セル皆ニシテ故ニ其階級，  
名義ハ多々武弁，名ニ據レリ即法蘭西ノ「シヨバリ  
エ」獨逸ノ「リットル」英吉利ノ「トート」等ハ騎士或ハ從  
者，義ニ取レリ而シテ又社名ヲ立テ之ヲ統轄編束  
ス即佛ノ「ナルドルドニレションド」ノール英，オル  
ドナルドシユバン陳ノ「ナードルドジレフハン」，如シ  
而シテ後世此賞章一般忠勇ヲ獎勵シ勳功ヲ賞譽ス  
ル，具トニレリ其通則凡勳功アル皆アレハ先勳社  
，列ニ進ニ其階級ニ隨テ賞飾ヲ與、之ヲ旌章ニ且  
兼テ定ムル所ノ金額ヲ與ヘテ又之レヲ褒賞ス其功  
，重ヌルニ從ヒ其級ヲ累進セシム而シテ此賞典ハ  
政府全國人民，矚望シ其功ヲ嘉賞スル所以ヲ旌章

スル者ニシテ此社ニ入ル者ハ政府モ亦之レ、對スル禮遇、稟々ス故ニ其貴重ナル玉帛貨幣ヲ與フル、類ニ非ス於是政府中別ニ一衙門ヲ置テ其處置ヲ掌ニシメ且一等或ハ二等ノ賞牌ヲ帶ル有功、大臣ヲシテ此事務ヲ統轄セシム佛ニ於テ此衙門ヲグラニサニスリエト云各國ノ通例凡此、如シ故ニ今正院中ニ賞牌事務局ヲ置キ有功、大臣ヲシテ其事務ヲ統轄セシメ古昔、勲位ニ基キテ其等級ヲ立テ之レニ繫ル日章、旗飾ヲ以テ是即彼、成規ニ據ルモノナリ彼我相通スルノ典禮ハ凡其式禮相類スルモノニ非レハ交際上ニ於テ通セサルトコロアレハナリ若夫其額費、源禮遇、式授受、方除級、律局中經理、事務其細目ニ至ツテハ設局擔當、委員猶

之レヨ審ニスヘシ故ニ其大綱、記載スル左、如三  
褒牌ハ西洋各國ニ於テ博覽事務局、取扱フ處ニシテ賞牌事務局、掌ル處ニアラス然レトモ其事類似セルヨ以テ今姑々此局、管轄ニ付ス

選舉賞牌ハ各國ニ其制アルヲ未ク詳ニセヌ然レモ  
過日司法省、建議依レハ方今其狀態ニ以テ獎勵、  
ノ、蔽ナニトセス故ニ亦此局、管轄ニ付ス

## 賞勵事務取調

## 事務局職制

## 同章程

## 勳等賞牌式及褒牌從軍牌式

## 勳記及免狀案

各種賞牌褒牌從軍牌圖

賞勲事務局職制

總裁 一人 二等官相當

副總裁 一人 三等官相當

一局中一切，事務ヲ總判ス

一賞勲議會ニハ議長トス

一二等以上，勳等ヲ賜ハル者ニ非サレハ仕ス  
ヘカラス

大書記官 五等官相當

書記官 六等官相當

一總裁副總裁，命ヲ取リ，局中一切，事務ヲ管

理ス

一各種，賞牌ヲ管掌ス

一總裁副總裁事故アル時ハ局中，事務ヲ代理  
ス然レキ議會，議長ニルト得ス

一大小内史，中ヨリ薦舉ノルヘシ

大主記 雜大主記

中主記 雜中主記

少主記 雜少主記

一各課ニ分ナ書記官以上，命ヲ兼ケ其分課，  
事務ヲ掌レ

記録課

局中一切，簿冊ヲ管シ勲記ヲ草シ免狀ヲ造  
リ内外往復，文書ヲ掌ル

出納課

局中一切，金銀貨ヲ出納シ賞牌ヲ製シ及ヒ  
賞金ヲ受ケ者，證書ヲ造ル丁ヲ掌ル

事務章程

一 内外人民ノ國ニ對シ勲等アリ者ニ議定ニ上裁コ  
諸ヲテ勲記及シ賞牌褒牌ヲ式ニ據テ給與ス  
一 勲等ヲ認定セレハ必ニ議會ニ以ニス  
一 議會，議員ハ必ス二等以上，勲アル者，限リト  
ス然失二等以上，員不足スル時ハ三等勲・皆ヨ  
リ撰仕ス

一 議員ハ九人，定員トス

一 總裁副總裁事故ノリテ議長久ル時ハ議員中，上  
席人ヨリ以テ之ニ注スヘシ

一 議會，規則ハ通常議院，成例ニ從フ  
一 勲功數最，章程ハ預定シ難キコ以テ議會ニ附ス  
一年勞ハ文官二十年以上武官十五年以上其階勤，  
景況ニ従テ議定ス  
一 諸省使ヨリ勲功，申立書ハ毎年十月ノ以テ限ト  
根臨時，申立ハ此限りニ非ス  
一 每年十一月十五日コ以テ議會ニ始ニ十二月十五  
日迄ニ之ニ次ス  
一 議定，後上裁，諸ヲハ翌年一月奏事始ニ於テス

二仙文獻

一勲等ハ内外人民圖ニ對ニ殊勲獻功アル者ニ賞ス  
レカ為ノニ設ル所、階級ニシテ尋常位階・類ニ  
非ニ改ニ各種、賞牌・佩用セシヤ衆庶ヨシテ欽  
尚スル所アラニム

一勲等分テ六トス

勲一等一等官以上、首・賜

勲一等准遇從一位正二位同

一等賞牌

非常・大功アル者

終身歲額金貳千五百圓

勲二等三等官以上、首・賜

勲二等准遇從二位正三位同

二等賞牌

非常・大功アル者

終身歲額金貳千圓

勲三等三等官以上、首・賜

勲三等准遇從三位正四位同

三等賞牌

非常・大功アル者

終身歲額金千五百圓

勲四等七等官以上、首・賜

勲四等准遇從四位正五位同

四等賞牌

非常・大功アル者

終身歲額金千圓

勲五等十等官以上、首・賜

勲五等准遇從五位正六位同

五等賞牌

非常・大功アル者

終身歲額金五百圓

勲六等十五等官以上、首・賜

勲六等准遇從六位正七位同

勅賞牌

非常，大功アル者

終身歳額金三百圓

一勲等ヲ以テ官等ニ配スルハ其限ヲ立ル所ナリ故ニ初功者ハ必又先づ最下・勲等ニ叙シ其賞牌ヲ賜ヒ其功・積ムニ隨ヒ累進シ其相當・等ニ止ル然レキ其功勲・大小ニ因リ賞賜・際際柱・論アルヘカラス

但外國人ニ賜ルカ如キ此定限・當テ大換其身分ニ斟酌シテ給スヘシ

一賞牌ハ貴重・物々シテ衆庶ニ示ス所以・意ナレハ天皇陛下親ニ一等ト六等・二牌ニ佩サセラレ各種・牌・佩玉ノ意・表セラルヘシ

祖シ皇太子満七歳以上佩五ノヘシ

一勲等ニ叙シ賞牌・賜ハリシ者ハ國人・每許スレ所トルヲ以テ別格・優待アルヘシ其禮遇・大略前條ニ注スト雖ニ其式數・細目ハ議會・議定ニ因リ上裁ヲ請フヘシ

一賞牌ハ禮服・節必ス佩フヘシ平服ニハ佩・ハカラス

祖平服ニハ綾・疊ニ左襟・見返シ・鉢穴ニ掛ケ畠牌トシニ其標トス

一古勲等・外ニ三種・賞牌・設ケル事左・如ニ兵卒賞牌

非常・大功アル者・特ニ終身歳額金百二十圓

賜

御頌

賞牌ハ衆兵，勲勵セシムル所以ノ物ナルヲ以テ  
少將以上拜命ノ時必ス之ヲ賜ヒ佩用セシムヘシ  
等外官吏賞牌

非常，大功アル者ハ特ニ終身歲額金百圓ヲ賜

フ

運卒番人賞牌

運卒番人，職掌ハ他，官吏ト異ナルヲ以テ同  
法省ニ委任シテ之ヲ給セシム

但其給與セシ姓名簿ヲ作り毎年六月十二月

賞勳事務局ニ申告セシム

### 褒牌式

一褒牌ハ官民ヲ論セス國，大利益，興シ又ハ人民

，智識ヲ開發スル等，大功勞アル者，賜ヒ禮服  
，節佩用スル。頸ノ首ハ之ヲ許シ且永世其家ニ  
存ニテ榮トナサシム

組ニ佩用ハ其身ニ止リ子孫ニ及スヘカラズ

### 從軍牌式

從軍牌ハ將卒，別ナク軍功，有無，論セス凱旋  
，後從軍セシ儀ニ賜ヒ左胸ニ懸ナシム

勳記案

官位十半者ハ族記ス  
外國人ハ其國名記ス

官位苗字名

叙勳何等

特賜終身歲額金何圓。歲額十キ百ハ加給トシ。

勲功，次第

古勲功ハ圓入

一等ハ家字口字嘉字  
二等ハ重字五字准字  
三等ハ尚字六字許字

呼上リ因テ

旌章ス

勲功  
年月日

賞勲事務總裁苗字名奉

兵卒勲記案

何家

苗字名

特賜終身歲額金何圓。歲額十キ百ハ加給トシ。

賞牌

軍功，次第

古軍功ニ因リ之ヲ給テ表章ス

賞勲事務總裁苗字名奉

印信  
年月日

等外官吏勲記案

何官首使或ハ齊縣

苗字名

賞牌

特賜終身歲額金何圓。歲額十キ百ハ加給トシ。

勲功，次第

古功勞ニ因リ之ヲ給テ表章ス

本支領發

賞勲事務大書記官苗字名奉

印年局  
月 日

褒牌勲記

何管下、、、

苗字名

何亭褒牌

所行、次第

右列行ニ因リ之ヲ給テ表章ス

賞勲事務大書記官苗字名奉

印年局  
月 日

|       |                         |            |              |               |
|-------|-------------------------|------------|--------------|---------------|
| 褒牌免状案 | 官位トキ者ハ族ヲ記ス              | 官位苗字名      | 何亭褒牌         | 何管下、、、        |
| 御年日   | 官位トキ者ハ族ヲ記ス              | 官位苗字名      | 所行、次第        | 右列行ニ因リ之ヲ給テ表章ス |
| 褒牌免状案 | 何功勞ニ因リ某閥ヨリ受ル所、賞牌公然佩用ヲ許ス | 賞勲事務總裁苗字名奉 | 賞勲事務大書記官苗字名奉 |               |

賞勲事務總裁苗字名奉

御年日

褒牌免状案

何管下、、、

苗字名



賞勳事務局印圖

印鑄局  
月 日

賞勳事務大書記官苗字名奉

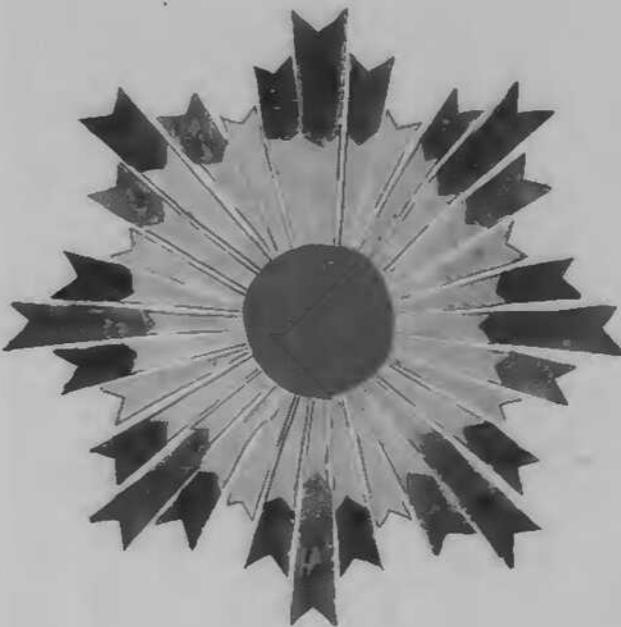
何、呼行ニ因リ某國ヨリ受ル所、褒牒公  
然、受用ヲ許ス

二等賞牌

金銀二重、凸形、全徑三寸、日章赤、徑七分、金光線徑二寸、銀光線徑三寸、裏面文同前、無鈕及佩環、佩針如圖。

終身金額給スル者ニ給フハ殊ニ銀光線ノ端末ヲ金ニテ縁シ之ヲ別ツ、

表面



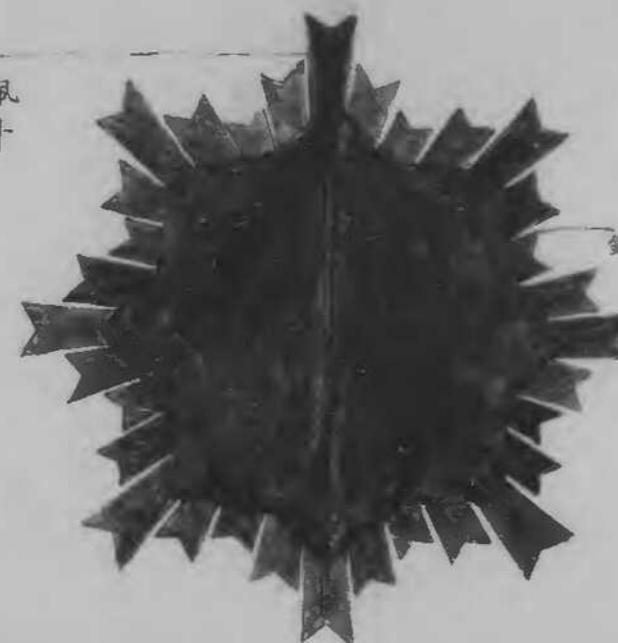
面側

佩針

面裏

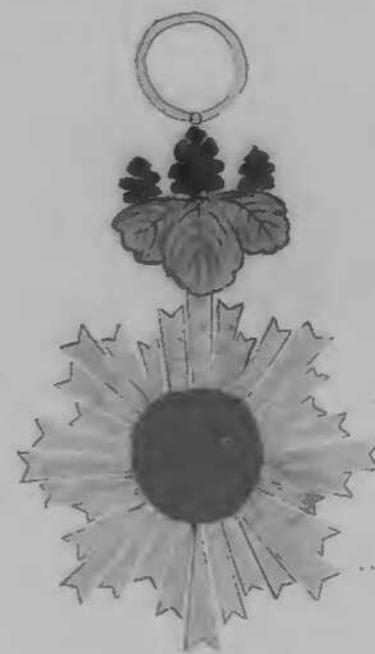
佩針

銀



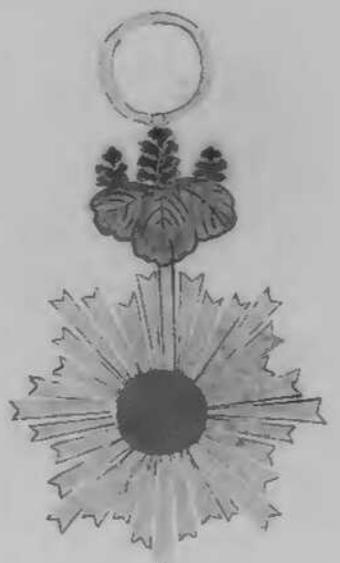
三等賞牌

金兩面、全徑一寸八分、日章赤、徑六分、光線金、鈕金、五七花相彩色、徑八分、  
五重、裏面文同前、佩環金、如圖、



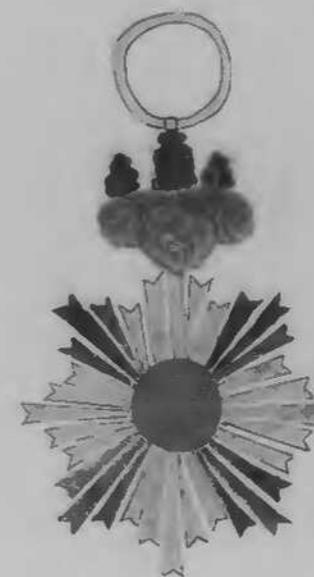
四等賞牌

全上、全徑一寸五分、日章赤、徑五分、光線金、鈕全上、徑七分、  
裏面文同前、佩環全前、



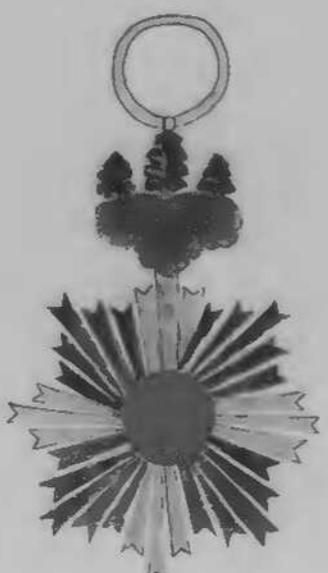
五等賞牌

金銀兩面、全徑日徑全前、光線金多銀少如圖、鉛銀、五三桐彩色、徑七分、裏面文同前、



六等賞牌

同上、全徑日徑同前、光線金少銀多、鉛佩環同前、



一等賞牌綬 緑紅巾白、終身金額ヲ給スル者ニハ殊ニ

幅四寸、縁紅 畫用各二寸、中白二寸、長五尺五寸。

斜ニ右肩ニ懸ク、左ノ腰下ニ垂ル、身体ノ長短ニ應シ伸縮適宜タルヘシ、佩様後圖ノ如シ。

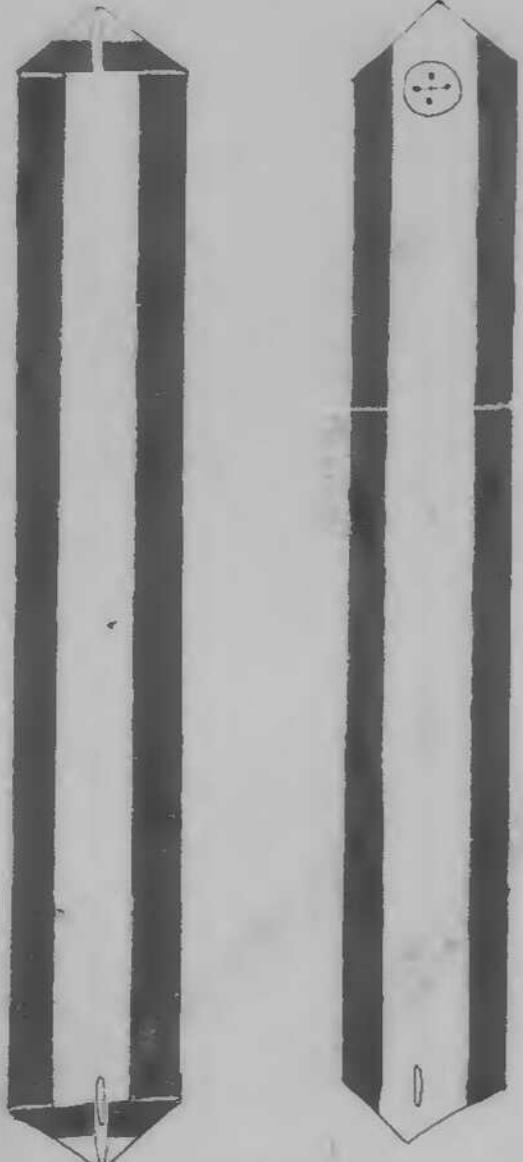


三等賞牌綬

一等賞牌、例ニ同シ

幅一寸八分、縁紫同各四分五厘、長一尺五寸。

頸ニ懸ケテ喉下ニ牌ヲ垂ル、伸縮適宜佩様後圖ノ如シ。



四五六等賞牌綬

幅子六公縁紅 番同各三云中白六公長三寸  
左胸ニ懸ケ佩様如後圖



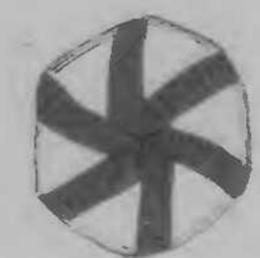
略牌圖

緑紅中白ノ綾ヲ、圓・如ク疊ニ左襟ニ懸ケ、終身金鎖ヲ  
給スル者ハ、緑紫中白ノ綾ヲ以テ之レヲ作ル。

一等  
二等

平面

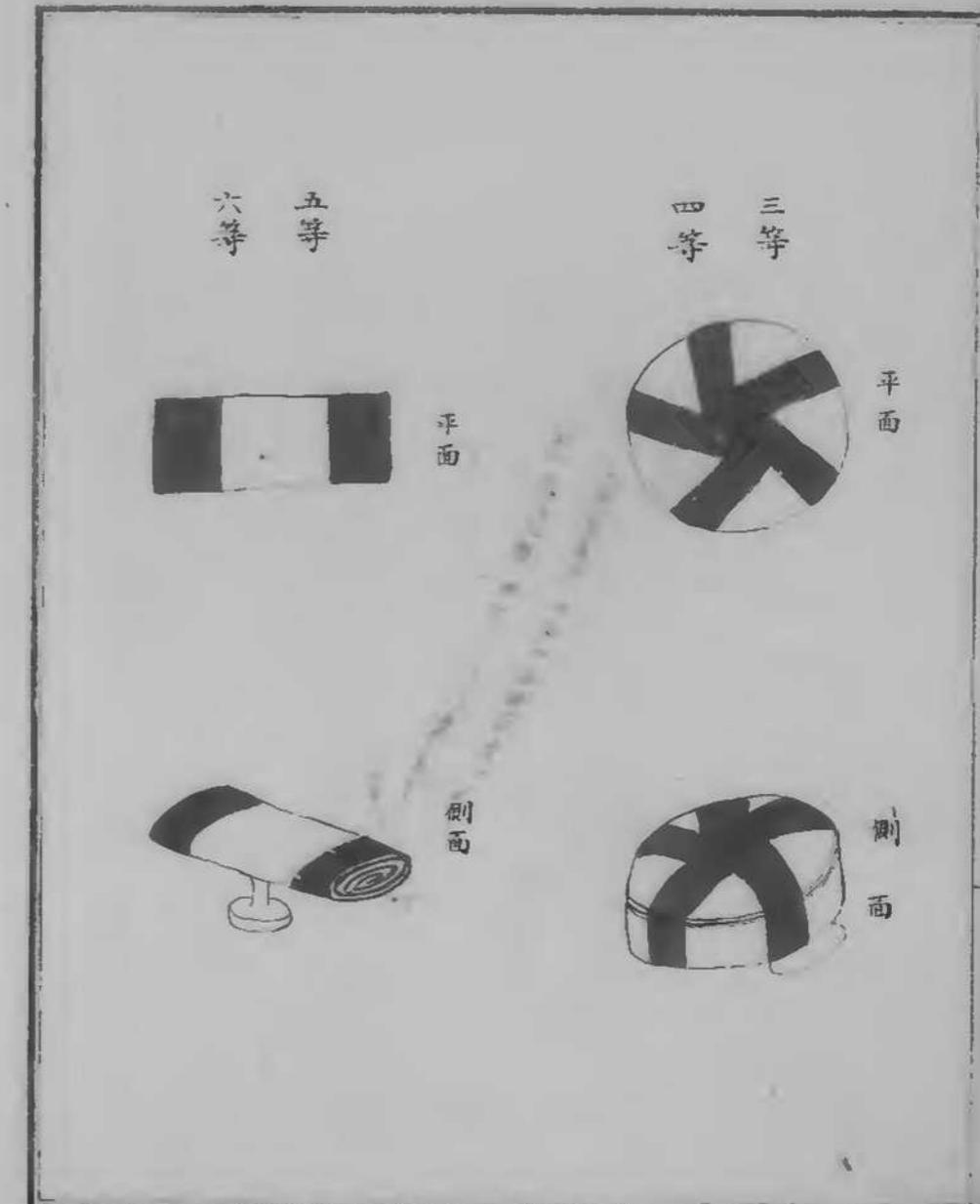
側面





諸牌ヲ佩ル圖

四等以下相牌數箇ナルトキ六本点一如其列ニテ佩フヘシ



累牌ヲ佩ル圖



兵卒賞牌

銀五三相章、徑一寸、彩色如圖、裏而文、年數是戰場名、  
佩環銀如圖、



綬四等以下、製二同レ

等外官吏賞牌

環五三洞章、徑一寸、無彩色、裏面文表賞、佩環同前、

懸銀



綬同前



羅平番人賞牌

一等

徑八分



表

白銅

二等

徑七分



表

赤銅

三等

徑六分



表

真銅

東



衷



裏

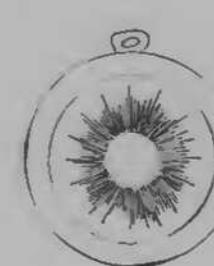


綬ヲ用ヒス緑紐ヲ以テ左胸ニ懸ク

公文類聚

褒牌

一等 金  
徑寸



表

二等 銀  
徑子五分



裏

三等 銅  
徑二寸



表裏 錶草同上

綬用ヒス緑紐以テ左胸懸

從軍牌

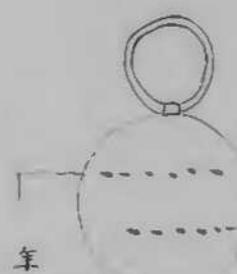
表

銀  
徑八分



裏

銅  
錢



同 稿

幅一寸長三寸左胸・懸・



式部省宿

別紙伺書支々御付紙ヲ以御指圖有之度此段申上候也

十二月十九日式部

別紙

一賞飾ノ儀ハ木夕御國ニ其式魚之模間新ニ之ヲ試ミ製作仕ヘク右ニ付テハ差向多少ノ御入賞相掛リ候儀而ヨ共物ハ則外國交際上ニ關係イクシ候事故

太政大臣

九正癸辛

其勲級ヲ旌章候程、精工美麗ニ作リ彼ク賞飾ニ對シ不劣品格ニ無之テハ不相成其大成ニ及ビ之レヨ給典スルノ多ニ至リ、ハ其費用固ヨノ察中定額ノ支給スヘキニ非ス古邊ハ如何相心得可申儀ニ御坐

卷八

當テ左院ニ於テ賞牌事務取調候其昧哉ハ則右調書等言ニ畧陳述仕置候通西洋各國ノ通例ニ據リ其成規ニ基キ之ヲ斟酌シ其行ルヘキヲ採リ施行ノ方法ノ取調俟丁ニテ將來其時勢多端ニ相成候テハ之カ為ノ一向ノ建設ニ其事務ヲ専任ニナサレハ事行届クサルノミナラス魚等賞節ノ儀ハ西洋一般賞金重牛モトナセリ故彼通例ニ於テ之ヲ政府ノ一命向トシテ其事務ヲ施行候丁故右等ニ基キ苟ノ貿

裁二取調候儀ニコレアリ右邊八調通御採用相  
成候儀ニ御坐候哉或八別段御左圖御坐候儀哉  
右兩條ノ儀魚矢御趣意奉伺前述ノ目的ノ定御趣  
旨ニ不相觸取調仕度依テ此段奉伺候也七月日久  
木紙八箇牌取調掛大給二等  
署官士同

內史議案

褒牌取調掛三等議官大給恒伺，課審案仕候慶式部  
察二於「八賞牌」功牌，品格裝飾及之給與，方法等  
實地取調候而已。又其製作費用，如十二至四十八

太史貢丘

素日同寮ノ關心、某事ハ然之且將來事務多端  
相成候節政府中一局ヲ設ケ云々ノ儀ハ同人申出ノ  
通りニ可有之ト存候依、左ノ通御指令相成可然候  
代<sup>セ</sup>未月廿日 戊部

外務省伺

歐州各國一於、彼我國人ノ功勞勳績ノ褒賞又凡為  
之獎牌功牌、兩品ヲ別シ之ヲ與授致儀儀普通、公  
典、有之狀慶於御國ハ未タ彼國人ノ賞功セ、凡  
之牌ヲ被與儀儀無之且御國人ノ服裳、於テハ其制  
大ニ殊異シシニ若假令彼ヨリ被與候共鷲帶難致候  
所過次禮服ノ制其形裝洋製一微ヒ御一定相成儀上  
ハ彼ヨリ授典ノ際之ノ鷲帶不致候テハ大ニ敬禮ヲ  
失スニ一當リ御交際ニ天闊涉可致且漸進開化ノ今  
日各國ハ對ニ友誼交際ノ道ノ致為盡般上ハ宜數此  
兩牌交換授典ノ制速ニ御設立相成度此段相向儀也  
三月十四日 外務  
法課 各事

明治二十二年六月一日

於東京中之某處此日奉相應付

大正御典



陸軍省同

賁碑功碑ノ儀ニ付一那士申年當有意見御下問ニ相成候聞共済急也又小陳置候多寧以爲何御沙木然之然ニ一昨明治六年七月廿一日右碑雖形蓮幣蓋二穴ニ聚作被碑其概段大識有、御通有之右、如何、御詮議ニ相成居後厥今取征討ニ付アハ賁碑功碑承認ノ儀有之既間御次足ノ事至急徵承知度此段相伺候也

二月九日

陸軍省

式部祭祠

賁碑以下ノ儀乞般久工陳候未御旨令候之俟蒙明示

十一

太文貞良

正義  
公明

一 退陣軍者、一リ何處敗二社ノハ柳指令長如何可仕  
或此民相向歟也 三月十一日  
陸軍

卷之三

四月十日

今般賞牌別冊之通被定候條此旨布告候事

賞  
碑  
圖  
式

朕惟ノニ凡ソ國家ニ功ヲ立テ績ヲ顯ス者宜ノ之ヲ褒  
賞シ以テ之ニ酬エヘシ猶テ勲等賞牌ノ典ヲ定メ人々  
ヲシテ寵異表彰スル所アルノ知ラシメントス汝有司  
其斯旨ヲ體セヨ  
明治八年二月

勲等ハ勳績及功勞アル者ヲ賞スル為ニ設クル所ノ

齊東野語

階級ニシテ位階ト異ナル故ニ各種ノ賞牌ヲ佩用セシム

勲等ヲ分テ八級トス

勲一等

右ニ叙スル者ハ一等賞牌ヲ賜フ

勲二等

右ニ叙スル者ハ二等賞牌ヲ賜フ

勲三等

右ニ叙スル者ハ三等賞牌ヲ賜フ

勲四等

右ニ叙スル者ハ四等賞牌ヲ賜フ

勲五等

右ニ叙スル者ハ五等賞牌ヲ賜フ

勲六等

右ニ叙スル者ハ六等賞牌ヲ賜フ

勲七等

右ニ叙スル者ハ七等賞牌ヲ賜フ

勲八等

右ニ叙スル者ハ八等賞牌ヲ賜フ

從軍牌

從軍牌ハ將卒ノ別ナク軍功ノ有無ヲ論セス凱旋ノ後從軍セシ微ニ之ヲ賜ノ

○

一賞牌及從軍牌ハ佩用本人ニ止リ子孫之ヲ用ユルノヲ得ス

賞  
軍  
牌  
佩  
用  
式

一賞牌ハ勲一等ニ限り必ス勲二等ノ牌ト共ニ兩箇ノ  
牌ノ佩ヘシ其他二等以下ハ一箇ヲ佩ルヲ規則トス  
譬ハ三等ノ牌ヲ佩ル者勲二等ニ叙スルキハ嘗テ佩  
フル所ノ三等牌ニ止ム二等牌ノ三佩ルカ如シ  
一賞牌ハ禮服ノトキ佩ヘシ平服ニハ佩フヘカラス平  
服ニハ畧綬ヲ左襟見返ノ釦穴ニ掛ケ其表トス  
一一等賞牌ハ幅廣キ綬ヲ以テ右肩ヨリ左脇ヘ斜ニ佩  
フ

一二等賞牌ハ右肋ノ邊ヘ綬ヲ不用針ニア秋三佩フ

一三等賞牌ハ綬ヲ領ニ纏ヒ喉下ニ佩フ

一四等以下ノ賞牌及從軍牌ハ左肋ノ邊ヘ左ニ列シ佩

| 勲<br>一<br>等                                                         | 勲<br>二<br>等                                                     | 勲<br>三<br>等                              | 勲<br>四<br>等                             |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 牌<br>金章徑二寸五分<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌</small>                      | 金銀白章徑二寸<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌</small>                       | 金白章徑二寸<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌</small> | 金章徑二寸<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌</small> |
| 鉢<br>金五七桐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                         | 無紐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                            | 金五七桐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>   | 金五七桐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>  |
| 環<br>金圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                          | 無環佩針銀<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                         | 金橢圓<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>    | 金圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>   |
| 綬<br>幅四寸<br><small>赤白織<br/>無綬</small>                               | 幅一寸<br><small>赤白織</small>                                       | 幅一寸<br><small>赤白織</small>                | 幅一寸<br><small>赤白織</small>               |
| 勲<br>五<br>等                                                         | 勲<br>六<br>等                                                     | 勲<br>七<br>等                              | 勲<br>八<br>等                             |
| 牌<br>金銀章徑二寸<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌<br/>銀白章徑二寸<br/>光綠白佛珠嵌</small> | 銀三桐章徑二寸<br><small>赤佛珠嵌<br/>光綠白佛珠嵌<br/>銀三桐章徑二寸<br/>葉綠佛珠嵌</small> | 銀五三桐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>   | 銀五三桐<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>  |
| 環<br>金圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                          | 銀圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>                           | 銀圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>    | 銀圓形<br><small>花紫佛珠嵌<br/>葉綠佛珠嵌</small>   |
| 綬<br>幅一寸<br><small>赤白織</small>                                      | 幅一寸<br><small>赤白織</small>                                       | 幅一寸<br><small>赤白織</small>                | 幅一寸<br><small>赤白織</small>               |
| 從<br>軍<br>牌                                                         |                                                                 |                                          |                                         |
| 鉢<br>銀桐條紋圓章徑二寸                                                      |                                                                 |                                          |                                         |
| 鉢<br>銀                                                              |                                                                 |                                          |                                         |

賞  
從軍牌  
圖式



朕惟フニ九ソ國家ニ功ヲ立て績  
ヲ顯ス者宜ク之ヲ褒賞シ以テ之  
ニ酬ニヘシ仍テ勳等賞牌ノ典ヲ  
定メ人々ヲシテ寵異表彰スル所  
アルヲ知ラムシトス汝有司其  
斯旨ヲ體セヨ  
明治八年二月

勳等賞牌

勳等ハ勳績及功勞アル者ノ賞スル爲メニ設  
クル所ノ階級ニシテ位階ト異ナル故ニ各種  
ノ賞牌ヲ佩用セシム

勳等ヲ分ツテ八級ト爲ス

勳一等

右ニ叙スル者ハ一等賞牌ヲ賜フ

勳二等

右ニ叙スル者ハ二等賞牌ヲ賜フ

勳三等

右ニ叙スル者ハ三等賞牌ヲ賜フ

勳四等

このコマには図面  
表等がありますから下  
記の原本をみてください。

請求番号

ZA-9④-251

式部察議按

内史歷查

勲等賞牌令別冊ノ通取調此段相同候也

一月三十日

別冊

先般大阪造幣寮ニ於テ賞牌製造被仰出候趣然ル處  
賞牌ノ儀ハエマイルノ彩色有之候處同寮ニ於テハ  
合職工無之故賞牌ノ製造ハ相成間敷ト存候向ニ大  
恰恒試ニ製造七シムル處ノ上マイル八洋製ノ方ニ  
無之全ノ御國固有ノ製方ニ就キ製造セシ趣ニ付テ  
八洋人ヲシテ見セシムルモ必ス彼ノエマイルト同  
一二是做スヘカラス洋人ニ常ニ日本製ノエマイル  
ハ甚珍重セ心趣物固ヨリ其應キ所ア貴トス故我固  
有ノ製方ノ以テ作リシ方後未外國へ贈與ノ儀コレ  
アル節ニ於テモ彼ノ賞譽ア得ヘク而シテ當所ニ

於テ作ル處既ニ如此全美ト一八造幣幣ニ於ニ試レ

ニ不及武ト存候就テハ本察ニ於テ之ノ製造セシメ

勲等ニ叙ニ賞牌ヲ賜ノ者賞牌破損等ノ事アリキハ  
本人之ノ買辦サセ可然ト存候

一歐洲各國ニ於ノ賞牌ヲ與フルニ當リ別ニ真授與  
ノ禮式有之然ルニ今賞牌ヲ勲等ニ配シ官位同様本  
察ニ於テ之ノ官掌スルア以勲三等牌以下ハ本察ノ  
傳達トナス故ニ其式ニ據ラス且賞牌ヲ佩ル者諸  
兵ノ禮式从毛去スル片八埋葬禮式等ノ規則セ歐洲  
ニハ有之候ヘ氏是等ハ陸海軍内官ノ官掌スヘキ儀  
故取調ヘ不申勲等賞牌令御次定ノ上八更ニ兩省、  
合邊御下問相成可然ト存候

右凡达相添仰高裁候也

七部十一月二十二日

### 勲等賞牌令

勲等ハ勳功及功勞ノ心者ノ賞スル為ノニ設クノ  
所ノ階級ニミノ位階ト異ナル故ニ各種ノ賞牌ヲ  
佩用セシメ取扱ノシテ欽尚スル所アシム

勲一等

合ニ叙スル者、一等賞牌ヲ賜ノ

勲二等

右ニ叙スル者ハ二等賞牌ヲ賜ノ

勲三等

右ニ叙スル者ハ三等賞牌ヲ賜ノ

勲四等

右ニ叙スル者ハ四等賞牌ヲ賜ノ

勲五等

右ニ叙スル者ハ五等賞牌ヲ賜フ

勲六等

右ニ叙スル者ハ六等賞牌ヲ賜フ

勲七等

右ニ叙スル者ハ七等賞牌ヲ賜フ

勲八等

右ニ叙スル者ハ八等賞牌ヲ賜フ

右勲二等以上ハ勅任官ノ功アル者ニ叙シ五等以上

ハ奏仕官ノ功アル者ニ叙シ六等以下ハ判任官以下ノ功アル者ニ叙ス

第一條 勲等ヲ以テ勅奏判官等ニ配スルハ其限

リヲ立ル所ナリ故ニ初功ノ者入先シ其最下ノ勲等ニ叙シ其功ヲ積ムニ隨ニ累進シ其等ニ止ム然

一尺勲功ノ次第ニ依リ賞賜ノ際膠柱ノ儀アルヘカラス

第二條 賞牌ハ勲等ヲ表スル貴重ノ物タルク衆庶ニ示ス所以ノ意ナレハ天皇陛下親ノ勲一等ノ牌

ア佩ケセラレ皇太子ハ滿七歳以上之ヲ佩ヒ玉ノヘシ

第三條 勲等ニ叙ヒラル者ハ國家ニ勲功アル表

章ヲ佩ヒヲ以テ衆庶ヲシテ欽尚セシメニ爲ノ別格ノ優遇アルヘシ

第四條 勲等ニ叙シ賞牌ヲ賜フハ勅任官ハ勅授奏任官以下ハ奏授トス尤特命ヲ以テ叙スル者及外國人ニ叙シ賜フハ此例外ト爲ス

第五條 年勞ニ依リ勲等ニ叙スルハ武官八十年以

上文官八十五年以上其精勤ノ状況ニ從テ叙スヘシ

但十年十五年ノ年數ハ明治元年戊辰ノ歲ヲ以テ初年ニ立テ其年數ヲ算定シ同年二月以後奉職ノ者ハ拜命ノ月ヨリ十二ヶ月ヲ以テ一年ト爲シテ年數ヲ算定スヘシ

或八十年十一年、年數ハ熟筆賞牌ヲ施行セ布告ノ日ナ初年ニシテ其年數ヲ算定スヘシ公市三十一年月ノ後ニ奉職・青色拜命ノ月ト十二ヶ月ヲ以テ一年ト爲シテ其年數ヲ算定スヘシ

第六條 年勞ニ依リ熟等ニ叙スルハ式官十年以上其精勤ノ状況ニ從テ之ノ賜ヲト雖凡其間從軍ノ

事アル時ハ其一年ハ二年ニ陪算シテ十年ノ年數ヲ算定スヘシ

但文官ト雖凡若ニ從軍ノ事アル片ハ本文ノ如ク倍算、法ヲ以テ十五年ノ年數ヲ算定スヘシ

第七條 一等又二等ノ熟ハ天皇親王之ヲ授ケ賜ノ以下、熟等八式部寮之ヲ傳達ス

第八條 文武官員遠國又ハ外國ニ在勤セル者熟等ニ叙ニ賞牌ヲ賜フハ總ヘテ式部寮ヨリ所管ノ長

官ニ送附シテ之ヲ傳達セシム且有付註者人氏例同

第九條 一等二等熟記ハ太政大臣奉天皇御璽ヲ鈐ス三等以下熟記又從軍記太政大臣宣大内史奉太政官印ヲ鈐ス免許狀ハ假書式ニ從ヒ太政官ト署

勅政類典

ス勅記從軍記及免許狀ハ式ノ如ク内史之ヲ書ス

賞牌ヲ造リ或ハ其諸規則ヲ改革スル起草ハ式部

察之ヲ管掌ス

第十條 諸官省使府縣ヨリ勅等ニ咏スヘキモノ、

爲人申立ツルハ所管ノ長官ヨリ本人ノ勲功及ヒ

功勞ノ次第フ正院へ詳細具状シ内外丈ヲ經テ上

申ス

第十一條 勅等ノ申立ハ毎年十月ヲ以テ限リト爲

シ之ニ叙スルハ明年一月ヲ定期ト爲ス

但臨時ノ申立ハ此例外トス

第十二條 勅等ニ叙シ賞牌ヲ賜フ者ノ姓名ハ太政  
官日誌ニ記載シ且式部察ヨリ新聞社ニ命シ之ヲ

登録セシメ其國家ニ勲功アリ名譽ヲ四方ニ知ラ

シムヘシ

第十三條 外國ヨリ賞牌ヲ受ケ佩用ノ免許ヲ願フ

者ハ勅奏判官等不拘本人直ニ式部察へ申出式部  
察ヨリ内史ヲ經テ上中ニ制可ノ上内外丈ヲ經由

シ式部察ヨリ免許狀ヲ傳達ス且人民ノ外國賞牌

ヲ受レ者ハ所管ノ裡テ式部察へ申出ヘシ

但外國ノリ受ル所ノ勅記ハ勅奏判ノ官等ニ不

拘總ノ外務省ノ副狀ヲ以テ式部察へ差出スヘ

シ人民ノ儀モ亦此例ニ同シ

第十四條 交際上ニ於テ外國人ニ賞牌ヲ賜フハ其

敷記賞牌ヲ式部察ヨリ外務省ニ送附シテ傳達セシ

ム其餘ハ式部察ニテ之ヲ傳達ス

但格別ノ勲功アリテ天皇陛下親テ授與シ賜フ

一 惡政懲典

ハ此例外上爲

第十五條 熟等ニ叙セラル、本人死去セシ時ハ其所管ヨリ其旨ヲ式部寮ニ届出ヘシ本人死去スル雖凡熟記賞牌ハ返上。不収然ニ凡子孫之ノ佩用スルヲ許サス

第十六條 賞牌ハ熟一等ニ限リ必ス熟二等ノ牌ト共ニ内筒ノ牌ヲ佩フヘシ其他二等以下八一箇ノ佩フルノ規則トス暨ヘハ三等ノ牌ヲ佩ル者熟二字ニ叙スル片ハ嘗テ佩ル所ノ三等牌ヲ此ノ二等牌ノ三佩ル力如ニ

第十七條 賞牌ハ禮服ノ時佩フヘシ平服ニハ佩フヘカテス平服ニハ畧綬ヲ左襟見返ノ鈎穴ニ掛ケ其表トス

第十八條 一等賞牌ハ幅廣キ綬ノ以テ右肩ヨリ左脇ヘ斜ニ佩フ

第十九條 二等賞牌ハ右肋ノ邊ニ綬ノ不用針ニテ挾三佩ノ

第二十條 三等賞牌ハ綬ノ領ニ纏ヒ喉下ニ佩フ

第二十一條 四等以下ノ賞牌及從軍牌ハ左肋ノ邊ヘ左ニ列三佩ノ

第二十二條 外國人賞牌ノ受ノル者ハ熟等賞牌ノ次ニ列子佩ノヘシ

勅記書式 二等以上

官位姓名

叙熟何等

勅記書典

太政卿典

賜賞牌

太政大臣 位 姓 名奉

明治何年何月何日

御璽ヲ捺ス

同 三等以下

官 位 姓 名

叙勲何等

賜賞牌

太政大臣 位 姓 名宣

大内文 位 姓 名奉

明治何年何月何日

太政官印ヲ捺ス

外國賞牌許狀書式

官 位 姓 名

許佩某國賞牌

明治年月日

太 政 官

○從軍牌

第一條 從軍牌ハ將卒ノ別ナノ軍功ノ有無ヲ不論

凱旋ノ後從軍セシ職ニ之ヲ賜フ

第二條 授與ノ手續ハ奏仕官以上ハ式部寮ニ於テ  
直ナニ本人ニ傳達シ其以下ハ從軍記念牌ヲ海陸  
軍兩省ニ送附シ其長官ヨリ傳達セシム

太政卿典

勅政類纂

從軍記案

海陸隊番号或艦号

官位姓名名

以從某役賜軍牌

太政大臣位姓名宣

明治何年何月何日

太政官印捺入

式部寮布達業院省使廳府縣へ

今般勲等賞牌圖式御颁布ニ付テハ尚又別紙ノ通諸手續心得ノ為メ相達候事式部

本書ハ各處一覽ヲ不内難シ者内參才協議之

別紙

一勲等ニ叙シ賞牌ノ陽フハ素ヨリ正院官掌ノ事ト  
雖凡所轄ノ長官ヨリ木人ノ勲功及功勞ノ次第ノ正  
院へ詳細具狀スル件ハ其上申スル所ノ會議シ賜ノ  
ヘシ從軍牌之亦同シ

一年功ニ依リ勲等ニ叙スルハ武官十年以上文官十  
五年以上其精勤ノ状況ニ從テ賜ノ亦所轄ノ長官ノ  
具狀ニヨルナリ

廿十年十五年ノ年數ハ明治元年戊辰ノ歲ヲ以テ  
初年ニ立テ其年數ノ算定シ同年二月以後奉賜ノ  
者ハ拜命ノ月ヨリ十二ヶ月ノ以テ一年ト爲シテ

勅政鑑典

年數ヲ算定スヘシ

一年功ニ依リ勲等ニ叙スル八武官十年以上其精勤  
ノ状況ニ從ツテ之ニ叙スト雖凡其間從軍ノ事アリ  
片八其一年ハ二年ニ倍算シ十年ノ年數ヲ算定スヘ  
シ

但シ文官ト雖トモ若シ從軍ノ事アルトキハ本文  
ノ如ノ倍算ノ法ノ以テ十五年ノ年數ヲ算定スヘ  
シ

一勲功ノ申立ハ毎年十月ヲ以テ限リトシニニ叙ス  
ルハ明年一月ヲ定期ト爲ス

但臨時ノ申立ハ此限ニ在ズ

一外國政府ヨリ賞牌ヲ受ク佩用ノ免許ヲ頒ノ者ハ  
勅奏判官等ニ拘ハラス本人直ニ當察ヘ申出ヘシ其

他人民ノ外國賞牌ヲ受ルハ其所轄ノ經ア申出ヘシ  
但外國政府ヨリ受ル處ノ勲記寫ハ勅奏判官等  
ニ拘ハラス總テ外務省ノ副狀ヲ以テ當察ヘ差出  
スヘシ其他人民ノ儀ニ亦同シ

一勲等ニ叙セラル、本人死去セシ時ハ其所轄ヨリ  
其旨當察ヘ届此ヘシ

式部寮議按

賞牌以下圖面御布告按取調仰高裁候也此年十二月

甲子十日

三署之

別紙賞牌詔書以下繪圖面等上本相成候様御取計有

之度彫刻方ノ儀ハ總テ當察ヘ打合可申候様用度謀  
ヘ御達シ育之度此段申(達候也)一月十四日

太政願典

加政類典

外務省問合史官死

今般御領布、賞牌圖式ノ表中佛蘇嵌、文字有之候處  
古ハ何等ノ意味ニ候哉難解候間及御問合候也五月十六日外務  
法制課へ掛合史官

賞牌圖式表中文字ノ儀ニ付別紙ノ通外務省ヨリ申  
來、假間聞答案御取調有之度候也五月廿日外務  
外務省一回答史官

賞牌圖式表中佛蘇嵌ノ文字ニ付御問合ノ趣致承知  
候古ハ漢語ニテハ佛蘇取佛語ニテハエマイユ即ナ  
代七寶焼ノ事ニ有之候此段及御答候也五月二十日外務  
法制課回答外史死

賞牌圖式表中文字ノ儀ニ付外務省問合ノ趣取調候  
間左ノ通り御聞答相成可然存候也五月二十日外務

十二月廿八日

第貳百四號

本年四月第五拾四號布告賞牌圖式中ニ掲載セル畧綏別  
紙之通被定候條此旨布告候事

畧綏雖形



勅二等以上

二分

勅六等以下